

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ヴィクトリアマイルはアスコリピチューノが優勝

5月18日(日)に行われたヴィクトリアマイル(G I)では1番人氣に推されたアスコリピチューノ(牝4歳/美浦・黒岩陽一厩舎)が優勝、2023年阪神ジュベナイルフィリーズに続く2つ目のG Iタイトルを手に入れました。

●三浦皇成騎手がJRA通算1100勝を達成

5月17日(土)の2回東京7日・第10レースとして行われた立川特別ではアンジュフィールドが1着となり、同馬に騎乗した三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、史上39人目・現役19人目となるJRA通算1100勝(1万2302戦目)を達成しました。

●A.シュタルケ騎手がJRA通算100勝を達成

5月18日(日)の2回京都8日・第11レースとして行われた栗東Sではコンティノアールが1着となり、同馬に騎乗したアンドレアシュ・シュタルケ騎手(ドイツ)は、JRA通算100勝(1204戦目)を達成しました。

●手塚貴久調教師がJRA通算700勝を達成

5月18日(日)の2回東京8日・第5レースではピリングスが1着となり、同馬を管理する手塚貴久調教師(美浦)は、史上60人目・現役10人目となるJRA通算700勝(延べ7110頭目)を達成しました。

●黒岩陽一調教師がJRA通算200勝を達成

5月18日(日)の2回東京8日・第11レースとして行われたヴィクトリアマイル(G I)ではアスコリピチューノが1着となり、同馬を管理する黒岩陽一調教師(美浦)は、現役104人目となるJRA通算200勝(延べ3039頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●高知、佐賀で人気馬が圧勝し、まず一冠【各地の主要3歳重賞】

黒潮皐月賞(5月4日、高知、1400^米)は、3番手を追走した全日本2歳優駿5着馬ジュゲムーン(牡、父コパノリッキー)が4コーナー手前で内から先頭に立って後続に5馬身差を付け、単勝1.1倍の支持に応えました。佐賀皐月賞(5月4日、佐賀、1800^米)は、3～4番手を進んだ単勝1.6倍で断然人気のムーンオブザエース(牡、父ニューイヤーズデイ)が2周目3、4コーナー中間で抜け出して6馬身差の独走に持ち込み、飛燕賞に次ぐ重賞勝ち。駿蹄賞(5月5日、名古屋、2000^米)は、中団から追いつけた単勝1.6倍で1番人気のカワテンマックス(牡、父ドレフォン)がゴール寸前で前をクビ差捉え、デビュー以来無傷の5連勝。東京湾C(5月8日、船橋、1700^米)は、中団から内を通して進出した3番人気のケンシレインボー(牡、父レインボーライン)が残り100^米で差し切りました。西日本クラシック(5月8日、園田、1870^米)は、逃げた5番人気のキミノハート(牝、父ルヴァンスレーヴ)が後続の猛追を半馬身凌ぎ、初の重賞タイトルを獲得。フロイラインスプリント(5月15日、門別、1200^米、牝馬)は、先手を取った単勝1.9倍で1番人気のワンダーウーマン(父ナムラタイタン)が後続を7馬身引き離し、こちらも重賞初制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ロッキンジS～リードアーティストがG1初制覇

現地5月17日にイギリスのニューベリー競馬場で行われたG1ロッキンジS(4歳上、芝1600^米)は、O.マーフィー騎手を背に先行したリードアーティスト(牡4歳、父ドバウイ、J&T.ゴスデン厩舎)がいったんはかわされたダンシングジェミナイを差し返してクビ差で優勝。G1初制覇を果たしました。勝ったリードアーティストは昨年8月のG3サラブレッドS(芝1600^米)で重賞初制覇を果たし、10月にはG3ダーレーS(芝1800^米)も優勝。今季初戦となった前走4月のG2ベット365マイルは勝ったダンシングジェミナイから12馬身3/4差離れた最下位でしたが、見事に巻き返しました。

●G1ブリークネスS～ジャーナリズムが差し切る

米三冠の2戦目にあたるG1ブリークネスS(3歳、ダート1900^米)が5月17日にアメリカ・メリーランド州のピムリコ競馬場で行われ、U.リスポリ騎手とのコンビで中団を進んだジャーナリズム(牡3歳、父カーリン、M.マッカーシー厩舎)が直線で他馬とぶつかる不利がありながらも、最後は粘るG3レキシントンSの勝ち馬ゴスガーを差し切って半馬身差で優勝しました。なお、ケンタッキーダービー馬ソヴリンティは回避しました。勝ったジャーナリズムは昨年11月のデビュー2戦目から4連勝で今年4月のG1サンタアニタダービー(ダ1800^米)に優勝。前走のG1ケンタッキーダービーはソヴリンティの1馬身半差2着でした。